

シリーズ「担任のこころ」13 川越 春夫(2-6 副担任 数学 野球部顧問)

元気な身体の子供たちへ ～「傷だらけの人生」からのメッセージ～

君たちに訓示するネタも力量もないので、私の波瀾万丈、傷だらけの人生について書きます。

私は身体障害者です。外見では分からないのですが、慢性腎不全で週3回(火・木・土)、1回につき4時間の人工透析治療を受けなければならないのです。透析をしないと10日から2週間で死につながるからです。透析をしないと、本来糸球体(しきゅうたい)で濾過され尿とともに排出されるべき老廃物が、腎機能の低下により体内に溜まります。尿が出ないため、水分が体内に残り身体がむくみ、心臓や肺に溜まって尿毒症や心不全などの合併症を引き起こします。

人工透析は、血液を体外に採り出し、ダイヤライザー(人工腎臓)で血液を洗浄し体内に戻すものです。多くの血液を採取するため、動脈と静脈を直結(シャントという)し、静脈を太くしているのです。私の左腕の血管が太いのはそのためです。(気持ち悪がらないでくださいね)

私は、この生活をもう20年続けています。そして、死ぬまで続くのだらうと思います。

君たちは経験がないと思いますが、私は全身麻酔によるメス(手術)を4回入れています。30歳過ぎに生まれつきの奇形で尿が膀胱(ぼうこう)から腎臓に逆流(そのために腎不全になった)していたので、開腹して膀胱を治しました。その後45歳、直腸ポリープ(癌)で直腸を数cm切除し(幸い人工肛門は免れた)、55歳で胆石による胆管炎と膵炎(すいえん)を起こし結局胆嚢(たんのう)を切除、60歳前に胃癌が見つかり胃の3分の2を切除しました。5年後生存率〇〇%と言われる病気ですが、早期治療のおかげで何とか今を生きています。鶴田浩二主演の映画ではありませんが、まさに『傷だらけの人生』です。もっともその傷は全部医者から受けたものですが(笑)。

しかし、今はこう考えるようにしています。神様が私を生かしてくれたのだ、命をいただいたことに感謝し、前を向いて精一杯生きていかなければ、と。

生徒諸君！ 元気な身体があれば何でも挑戦できます。チャンスがいっぱいあるのに、それを自ら放棄しているようで、見ていて歯がゆく思います。私のようになってしまってからでは、やりたいことも十分出来ません。若い季節、健康な時間を無駄にせず、チャレンジしてください。君たちが恐れるのは失敗ではない。君たちが恐れるべきは、やらずに終えてしまった後悔です。

八日市高校に14年間お世話になりました。私は、この学年末で再任用期間を終え、一旦退職します。この間、君たちと学べたことを嬉しく、そして誇りに思います。君たちは、もう後1年を切りましたが、それぞれの進路実現に向けて努力し続けてくださることを切に願っています。

追伸。今からでも遅くありません。少しでも時間を作って本を読んでください。本校の図書館には役に立つ本がいっぱい置いてありますよ。(図書館担当より)



学年末までの日程

2/10	月	
11	火	《建国記念日》
12	水	45分×6限 特色選抜判定会議 生徒完全下校15:30
13	木	⑦限:LHR(リーダー研修会報告・球技大会)
14	金	3年登校日 運動部貧血・心電図検査 スクールカウンセリング
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	⑦限:総合(志願理由書作成)
19	水	学年末考査時間割発表(考査1週間前)
20	木	⑦限:LHR(進路希望調査・いじめアンケート他)
21	金	スクールカウンセリング
22	土	
23	日	《天皇誕生日》
24	月	《振替休日》
25	火	4限授業 午後:卒業式準備
26	水	学年末考査①
27	木	学年末考査②
28	金	学年末考査③ 卒業式予行
29	土	
3/ 1	日	卒業式(クラス代表および係等、一部生徒のみ列席)
2	月	《代休》
3	火	学年末考査④
4	水	学年末考査⑤
5	木	AM:特別時間割(考査答案返し)
6	金	AM:特別時間割(考査答案返し)
7	土	AM:第3回PTA役員会
8	日	
9	月	①～④限授業 一般選抜前日準備 生徒午後下校
10	火	公立高校一般選抜 生徒自宅学習
11	水	採点日 生徒自宅学習
12	木	①～③限授業 ④限:生徒大会
13	金	①②限授業 ③総合 ④進路説明会
14	土	
15	日	
16	月	④限授業 一般選抜判定会議 生徒完全下校15:30
17	火	④限授業
18	水	球技大会(終日 今年は一日で実施)
19	木	①～③限授業 PM:入学許可予定者リエンテーション
20	金	《春分の日》
21	土	
22	日	
23	月	①授業 ②③身体測定・写真撮影・LHR ④卒業生からのメッセージ PM:新3年教科書販売
24	火	大掃除 終業式 LHR

◎学年末考査そして一ヶ月の春休み

～長時間自宅学習に耐えるために～
 学年末に向けての日程を一気に掲載した。2年の3学期は3年の0学期であることを諸君らは心得ている。だとすればこの考査は2年の締めなどではなく、高校生活の最終目標でもある進路実現に向けての通過点に過ぎない。考査が終われば次の日から何をすべきかを考えねばならない。間違いなく各教科から春休みも含んだ約一ヶ月程度の量の課題が出される。学年末考査が終わった次の日からすでに新しいステージは始まっている。

さて、今回の学年末考査は、考査前に3連休、考査中にも卒業式を含んだ実質上の3連休がある。いくらでも時間をかけられる。諸君らが本気でやればどれくらい出来る人間かということアピールする最高の場ではないか。

休みの日は最低10時間集中して学習する。長時間の自宅学習に耐え得る「集中力」と「忍耐力」は、これから1年にわたる受験戦争を乗り切る重要な武器だ。そして、その武器は、その気になればいつでも出来るさというような生やさしいものではない。

まず長時間学習に慣れること。我慢してトレーニングすることで脳や身体が長時間学習という環境に適応する。それを繰り返すことで習慣化する。部活が終わって、学園祭が終わって、それから始めても十分だと思い込んでいる鉄人たちよ。諸君らがもしアスリートの一員なら知っているはずだ。急激に練習することが大きな怪我や故障に繋がることを。筋トレは地道に継続してこそ効果が得られることを。脳や心もまた筋肉と同じ。

そこで、まずこの考査で長時間学習にチャレンジしてみよう。そして考査後、午前中授業の続く長い「春休み」にそれを持続させてみよう。来たる激闘の日々に向けて、身体づくり、脳づくりを始めよう。長時間自宅学習に身体と脳を慣れさせること。1分でも長く机に向かうこと、これを鉄人たちへの春のミッションとしたい。